



代っ子通信

令和6年11月14日

<第35号>

校長 平塚智康

3年生 総湯体験 ～総湯の教育的効果～

3年生が「総湯体験」を行いました。山代温泉総湯に実際に入り、入浴する時の注意点やマナーなどについて、地域のボランティアの方々から学びました。（前の週には、体育館で、学年合同の事前学習も行いました。）温泉のある山代小ならではの特色ある体験学習です。最近は、子どもたち同士で総湯に入りに行くことも、家族で総湯に入りに行くことも少なくなってきました。総湯では、公共施設でのルールやマナー、社会性などを自然に学びます。行儀が悪いと、町の人から叱られることもあります。そんな貴重な体験学習を、地域の方々の協力を得ながら実施できるのはとても幸せなことです。ご協力いただいた地域の皆様、本当にありがとうございました。



<ボランティアの皆さんにごあいさつ>



<風呂上り超気持ちいい！>

301 〇〇 〇〇

わたしは今日、地いきの人たちと総湯体験に行きました。地下からわき出しているお湯だからか、とても温かくて気持ちいいなと思いました。湯船は、ぬるめであさい方と、熱くて深い方がありました。地いきの人たちと学校にいる友だちといっしょに入ったので、少しだけはずかしいなとも思いました。総湯に入った後、外に出て、「風ってこんなに気持ちよかったかな。」と思いました。総湯のとなりに温玉ソフトが食べられるお店があったので、温玉ソフトが食べたくなりました。楽しかったです。

302 〇〇 〇〇

ぼくは今日3の2みんなと総湯体験に行きました。熱い風呂とぬるい風呂とわかれていました。はじめて総湯に入った時には、こんなに気持ちいいお風呂だとも思いませんでした。みんなと入れて一番うれしかったです。

家族といっしょにまた入りにいきたいです。



3の3 〇〇 〇〇

10月28日月曜日にわたしはそうゆ体けんに行きました。おふろは二つで、ぬるいところとあついところがありました。家のおふろだとあがったらすぐにひえるけど、おんせんはお湯がめっちゃあたたかくて、あがってもポカポカしていて気持ちよかったです。とっても気持ちよかったです、またいきたいなと思いました



わたしは山中温泉に住んでいます。毎日子どもたちを連れて総湯に行くのが日課でした。息子とは中学卒業まで、ほぼ毎日総湯に通ってました。総湯の浴槽のへりに腰かけて、息子が今日学校であったことをいろいろ話してくれて、それを聞くのが私の楽しみでした。「あのね、今日学校でね・・・」それから、大好きな野球の話や、勉強の話、人生の話、将来の夢などについても話しました。裸で総湯につきりながら息子と話す時間は、私にとってとても幸せな時間でした。私は子育ての多くの部分を総湯でしていたような気さえます。

総湯では、公共心や社会性を身につけられるばかりでなく、親子のスキンシップやコミュニケーションを促進し、子どもの情操教育にも大変効果があると実感しています。総湯で、体も心もポカポカと温かくなって、親子の絆が深まれば、子どもの情緒は安定し心豊かに成長していきます。子育て中の保護者の皆様には、「総湯でポカポカほっこり子育て」をおすすめいたします。

台湾国立嘉義大学附属実験国民小学校との交流事業

10月21日～24日に標記の交流事業が行われました。本校からは右の5人の子どもたちが参加しました。

<6年生> 〇〇 〇〇さん、〇〇 〇〇さん
<5年生> 〇〇 〇〇さん、〇〇 〇〇さん、
<4年生> 〇〇 〇〇さん

この事業は、台湾の自然・文化・生活習慣などを体験的に学び、また台湾の子どもたちと交流する活動を通して、異文化への理解を深めたり、世界の人々との協調精神等国際感覚を身につけたりすることを目的として実施されました。

交流事業から帰ってきた子どもたちに校長室に来てもらって、台湾のおみやげ話を聞きました。「初めての外国でとても緊張したけど、台湾の人たちはとても親切で優しく温かく歓迎してくれた。」「嘉義小学校は迷子になりそうなくらい広くて、プラネタリウム室もあってすごく驚いた。」「自分たちが準備したパフォーマンスや加賀市の紹介も喜んでもらえたと、嘉義小の子たちとの交流もすごく楽しかった。」などと感想や体験談を生き生きと話してくれました。

このような貴重な体験機会はなかなかありません。参加した5人には、事業を通して学んだことを、これからの学校生活や人生に活かして欲しいと思います。



<交流事業に参加した5人の子どもたち>



<台湾で熱烈な歓迎を受けた子どもたち>